

第2回日経ウーマンエンパワーメント広告賞 受賞作品が決定

日本経済新聞社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛)と日経BP(本社：東京都港区、代表取締役社長：吉田直人)はジェンダー平等に貢献する広告を表彰する「日経ウーマンエンパワーメント広告賞」の受賞作品を発表しました。

国内の全広告を対象としたアンステレオタイプ広告賞には東海テレビ放送の「ジェンダー不平等国で生きていく。」、同審査員特別賞には味の素冷凍食品の「冷凍餃子手間抜き論争」が選ばれました。

日経グループの各種媒体に掲載した広告を対象とする日経特別賞にはツムラの「#OneMoreChoice プロジェクト」が選ばれました。

日経ウーマンエンパワーメント広告賞はジェンダーに基づいた固定観念を打破し、女性活躍を支援する目的で、「アンステレオタイプアライアンス」を主導するUN Women(国連女性機関)日本事務所や内閣府などの協力・後援を得て開催しており、今年が2回目となります。2020年9月～21年8月に放映・掲出・掲載された広告を応募対象とし、9月下旬の審査委員会で選出しました。

第2回日経ウーマンエンパワーメント広告賞の概要は以下の通りです。

主催：日本経済新聞社、日経BP

協力：UN Women(国連女性機関)日本事務所、日本アドバタイザーズ協会

後援：内閣府、外務省

応募作品の対象期間：2020年9月1日から2021年8月31日

UNSTEREOTYPE 広告賞の対象：放映・掲出・掲載された、新聞広告、雑誌広告、テレビ広告、ラジオ広告、デジタル広告

日経特別賞の対象：日本経済新聞および日経グループの各種媒体に掲載された広告

審査員：

【UNSTEREOTYPE 広告賞】

- ・鈴木信二氏 公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会専務理事
- ・石川雅恵氏 UN Women(国連女性機関)日本事務所長
- ・白河桃子氏 相模女子大学大学院 特任教授

- ・本田哲也氏 本田事務所 代表取締役／PR ストラテジスト
- ・治部れんげ氏 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授
- ・古川裕也氏 電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター
- ・羽生祥子 日経 BP 日経 xwoman 編集委員

【日経特別賞】

- ・塚原月子氏 カレイディスト 代表取締役社長
- ・瓜生原葉子氏 同志社大学商学部准教授、ソーシャルマーケティング研究センター長
- ・梅田悟司氏 コピーライター、インクルージョン・ジャパン取締役
- ・篠田真貴子氏 エール取締役
- ・石塚由紀夫 日本経済新聞社 編集委員

日経ウーマンエンパワーメントプロジェクトの活動や受賞作品はこちらからご覧ください。

<https://woman.nikkei.com/WEC/>

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は約185万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は85万で、有料・無料登録を合わせた会員数は500万を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)